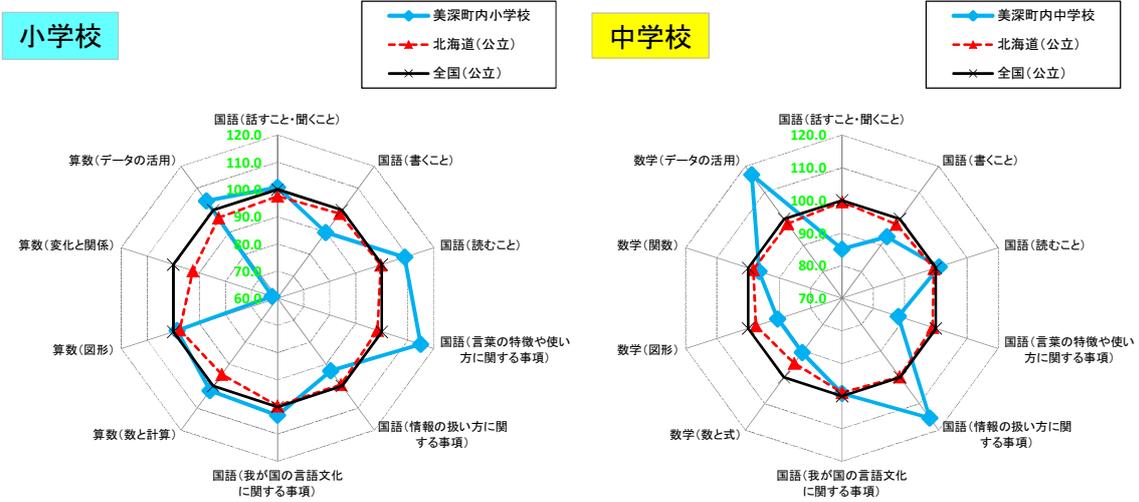


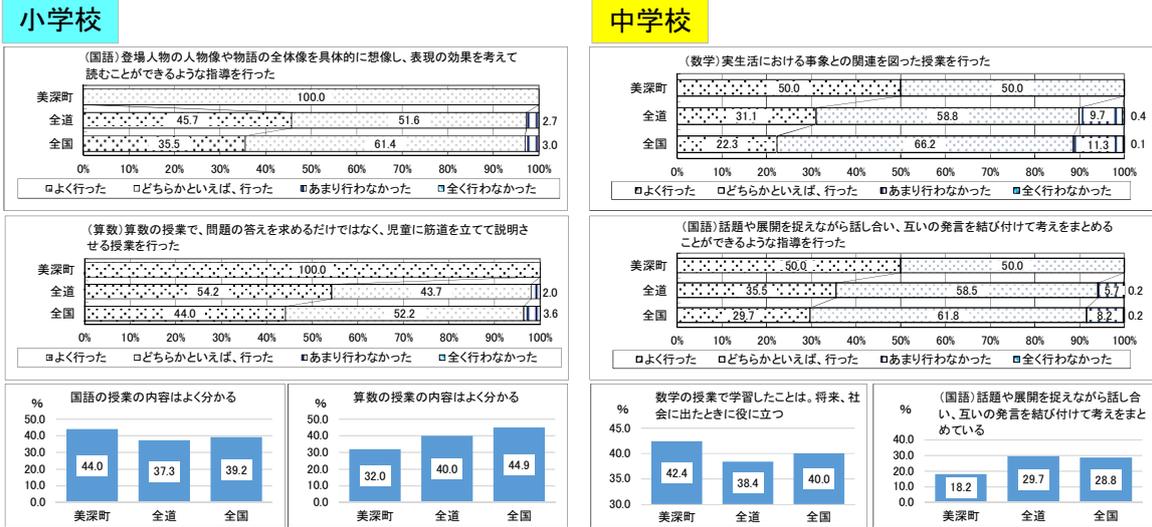
■美深町内の状況及び学力向上策 (小学校数:1校、児童数:26人) (中学校数:2校、生徒数:32人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【質問調査の状況】



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校	中学校
<p>国語の授業において、登場人物の人物像や物語の全体像を具体的に想像し、表現の効果を考えることができるような指導を行ったことにより、国語の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったとともに、国語の2領域2事項で平均正答率が全国及び全道を上回ったと考えられる。</p> <p>算数の授業において、問題の答えを求めさせるだけではなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、児童に筋道を立てて説明させるような授業を行ったが、算数の授業の内容がよく分かる」と回答した児童の割合が全国を下回ったことから、どう考えればその答えになるかをより多くの児童が納得できるよう、個に応じた指導に努める。</p>	<p>数学の授業において、実生活における事象との関連を図った授業を行ったことにより、数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と回答した生徒の割合が全国及び全道を上回ったとともに、数学の1領域で平均正答率が全国及び全道を上回り、他の3領域でも平均正答率が全国及び全道に近い結果になったと考えられる。</p> <p>国語の授業で、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめるような指導を行ったが、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている」と回答した生徒の割合が全国を下回ったことから、リーディングスキルテストを活用するなど、引き続き読解力の向上に努める。</p>

【美深町の学力向上策】

- ◎ 個に応じた指導の充実や英語検定、漢字検定を活用した学力向上の取組の推進
- ◎ 1人1台端末を効果的に活用した学習の推進
- ◎ 学校運営協議会や保護者と課題を共有した教育活動の推進
- ◎ 幼小中高が連携した課題解決の取組の推進
- ◎ リーディングスキルテスト(中学校)を活用した、読解力向上のための指導の充実